

International Symposium on Materials Science and Innovation for Sustainable Society
ECO-MATES2011／第 21 回池谷コンファレンス開催報告

大阪大学 接合科学研究所 高橋康夫 (ECO-MATES2011 組織委員会委員長)

期間：2011 年，11 月 28 日～30 日

場所：大阪，ホテル阪急エキスポパーク

国際シンポジウム ECO-MATES2011 は，エコ技術革新とエコ材料開発の研究成果を発表し，グリーンイノベーション創出のための情報交換を行うことを目的として開催されました．環境調和接合技術に関する意見交換はもちろんのこと，持続可能性低炭素社会形成のための議論を交わす良い機会となりました．発表件数は 320 件を上回り，国内から 339 名，韓国，中国，欧州，アメリカ，カナダをはじめとする海外 20 ヶ国から 96 名，総数 435 名の参加を得ました．開会式では，池谷正成氏（公益財団法人 池谷科学技術振興財団会長，ECO-MATES2011 組織委員会委員）から開会の挨拶をいただきました．1 日目のイブニングフォーラムでは，160 件のポスター発表があり，乾杯の後（写真 1），多くの学生，研究者が熱く議論を交わしていました．2 日目のレセプションの集合写真を写真 2 に示しています．大変多くの参加者を得たことは誠に光栄です．また，本シンポジウムでは，8 セッションの池谷フォーラムを組みました．セッション名を示しますと，1) Environmentally Friendly Electronics Packaging（環境調和電子実装），2) Environmentally Friendly Materials Processing—Nanofabrication--（環境調和材料加工，ナノファブ리케이션），3) Eco-Assembly and Nano-Fabrication（エコアSEMBリ，ナノファブ리케이션），4) Thermal Analysis as an Eco-Technology（エコ技術としての熱解析），5) Eco Interface Joining（環境調和界面接合），6) Eco Interface Joining and Testing（環境調和界面接合検査技術），7, 8) Welding Metallurgy I and II（溶接冶金 I, II）となります．環境配慮型材料開発並びに先端材料加工に関して活発な発表と討論がなされました．閉会式では，15 名の学生に ECO-MATES 研究奨励賞が授与されました．また，国際会議後に論文が提出され，査読を経て，55 報が Journal of Physics Conference Series, Vol. 379 (2012)に，また 8 報が Waste and Biomass Valorization, Vol. 3, No. 4 (2012) に特集号として出版されました．さらに 5 報が Science and Technology of Welding and Joining, Vol. 18, No.2 (2013) に特集号として発刊されます．ECO-MATES2011 は，その開催計画から 2 年半，2012 年 12 月にすべての業務を完遂することができました．これも，全関係者のご尽力のおかげと感謝しております．組織委員会，実行委員会を代表いたしまして，全参加者，関係者の皆様に御礼申し上げます．次第です．

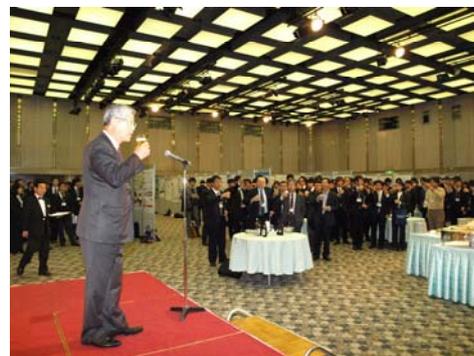


写真 1 イブニングフォーラム，池谷正成氏による乾杯の音頭．



写真 2 レセプション時の集合写真．